

Ⅲ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 (特別枠)

1 募集人員

キャンパス	課程	専攻	コース	募集人員(注1)
柏原・天王寺	学校教育 教員養成課程	幼小教育専攻(注2)	小学校教育コース	5人
教 育 学 部 合 計				5人

(注1) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 学校教育教員養成課程の幼小教育専攻小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

以下に該当する者で、令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学が募集区分で指定した教科・科目(52頁の「令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)の実施教科・科目等について」を参照)を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。(リスニングテスト免除者は除く。なお、配点については53頁を参照)

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>ただし、推薦人数は(4)の①に該当する場合は1校5名以内、②に該当する場合は1校2名以内とし、①②合わせて1校5名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者</p> <p>(3) 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者</p> <p>(4) 次のいずれかに該当する者</p> <p>①高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>②高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等(15時間以上のものに限る)に在学校の了解を得て参加し、修了又は修了見込みの者</p> <p>※本学開講の教育プログラム以外については、出願資格に該当するかどうかを、10月23日(月)までに、必ず入試課までご確認ください。</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和5年11月1日（水）から令和5年11月8日（水）まで（11月8日必着）

(2) 出願方法

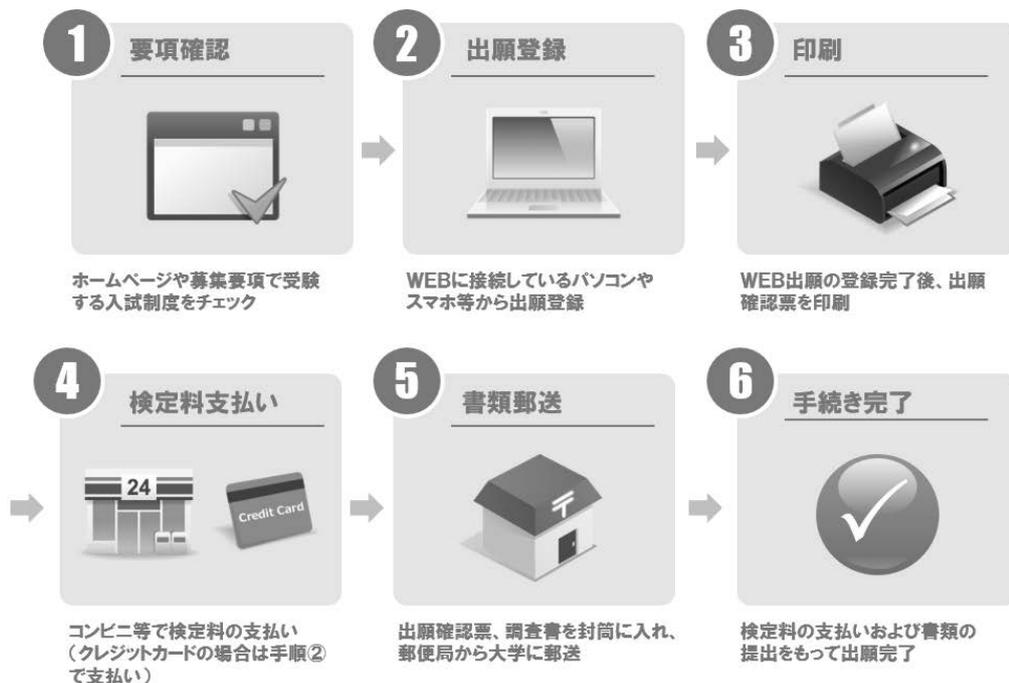
インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続きが必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和5年10月25日（水）9時～令和5年11月8日（水）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和5年10月25日（水）9時～令和5年11月8日（水）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和5年11月1日（水）～令和5年11月8日（水）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月6日（月）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、65頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和5年10月25日(水)9時00分～令和5年11月8日(水)12時00分(日本時間)

※インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和5年10月25日(水)9時00分～令和5年11月8日(水)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,344円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代344円)。
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

- 2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA, MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、 デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。

- 3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は57頁7の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoyou_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和5年11月1日(水)～令和5年11月8日(水)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月6日(月)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書類等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出願確認票	全員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写真票	全員	写真は2枚(同一) 必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。(カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 書類確認票	全員	必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送付ラベル	全員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑦から⑩は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください)	⑤ 調査書	全員	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、出願資格及び要件(4)①で出願する場合で、教育に関する科目4単位について、出願時に修得見込みの場合は、その旨を備考欄に記載してください。
	⑥ 教育プログラム等の修了証書等	出願資格及び要件(4)②で出願する場合のみ	高等学校在学中に修了した教育プログラム等の修了証書等(コピー可)を提出してください。提出いただいた修了証書等は一切返却しません。 【注】コピーで提出する場合は、学校が原本証明したものを必ず提出してください。 また、出願受付期間後に提出することはできません。 なお、出願時に修了見込みの場合は、教育プログラム等の日程や内容を記載したものを添付し、あわせて、修了後、ただちに修了証書等(コピー可)を提出する旨を記載した文書(様式任意)を出身学校長が作成のうえ、提出すること。※ ※本学開講の教育プログラム以外については出願資格に該当するかどうかを、10月23日(月)までに必ず入試課までご確認ください。
	⑦ 推薦書	全員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑧ 同意書	全員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑨ 志望理由書	全員	本学所定の様式に志願者本人が自筆で600字程度で作成してください。
	⑩ 活動報告書	全員	本学所定の様式2種類(活動報告書(A)及び(B))それぞれ、A4用紙に片面印刷のうえ、志願者本人が自筆で作成してください。

2. 到着次第、合格内定者が送付する書類 **※合格内定者のみの提出となるため、注意してください。**

書類等	提出該当者	摘 要
共通テスト成績請求票送付用紙	合格内定者のみ	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和6共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、令和5年12月18日(月)必着で郵送してください。 ※提出が遅れる場合は、必ず入試課へ連絡してください。

※合格内定者には、合格内定者の発表後に、合格内定通知を発送いたします。

(4) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和5年10月20日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(5) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和6年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。（52頁、62～63頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和5年11月25日（土）

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	面接 10：00～

※志願者数によっては、面接の日時を変更することがあります。

その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書）及び面接を総合して行い、合格内定者を決定する。 さらに、大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）において本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定する。

※個別学力検査等の総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の実施教科・科目等について

共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）で、本学が課す令和6年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。

なお、令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、最終合格者として決定しません。また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース			大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
				教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	小学校教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1(注6) D 物、化、生、地から2	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	その他	面接 活動報告書(注7)
〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕								

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 教科・科目名は次のように略しています。

国語→国，外国語→外，地理歴史→地歴，数学→数，理科→理

英語(リスニング含む)→英(リ)，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

世界史A→世A，世界史B→世B，日本史A→日A，日本史B→日B，現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，倫理，政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B，簿記・会計→簿，情報関係基礎→情報

物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地

(※) 地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

(注2) 大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科(「物理」，「化学」，「生物」，「地学」)から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

(注3) 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者は除く。)

また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記(200点満点)の成績をそのまま利用します。

(注4) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。

(注5) 地理歴史及び公民については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の組合せをいいます。

(注6) 理科については、「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

(注7) 「活動報告書」とは、高校時代等に行った活動実績の概要、そこで身につけた能力、スキルや経験を記載するものです。

活動報告書様式については50頁を、内容及び採点・評価基準については53頁を参照してください。

(5) 令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）における令和6年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・専攻・コース			試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	小学校教育コース	個別学力検査								300		◎90	390	390
				共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200							

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。

（選択できる科目数については52頁を参照してください。）

◎印は、活動報告書を表しています。

◆印は、令和6年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

(6) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。

(7) 活動報告書の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書（活動内容ならびに学びに関する報告）の提出を求める。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する報告によって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に、主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。

5 入学後の検証等について

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）は、特に、大阪府内の優れた（小学校）教員を養成するという観点から、学力のみならず教員になることへの意欲や適性を重視した選抜を行います。

さらに、入試のみならず、入学されてからも、高大接続の観点から、本人承諾のうえ、入学後の成績を共有するなど、出身高等学校と連携し、本学校推薦型選抜の調査・研究及び効果検証等を行う予定です。

そのため、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の受験にあたっては、上記趣旨をご理解いただいたうえで、受験していただきますようお願いいたします。